

校長室

だより



R7.5.27 Vol.9

教えてください！

中休みや昼休み、「入っていいですか？」と校長室に子供がやってきます。中の一人が「校長先生！ウクレレ教えてください。」「いいよ〜。」まだぎこちない運指でしたが、しっかりコードを押さえて、「チャン、チャ〜ン、チャ〜ン」（一同礼！の時の音です）が弾けるようになりました。「今度、〇〇君の誕生日は私がこれを弾きたいです！」「いいよ〜！お願いしますね。」そんなやり取りをしていると、「私もやりたいです！」とまた一人やってきました。「じゃあ、〇〇ちゃんの誕生日は私が弾きま〜す。」当日、なんと二人とも、ハッピーバースデーまで演奏できました！子供ってすごい！！



ファイトオ〜！いっぱ〜つ！

校長の仕事に職員の監督というものがあります。時々、職員のいないときを見計らって、職員室をうろうろします。机上整理はできているか？学校にいないものは持ってきていないか？（いやな奴ですね〜私って！笑）

宇都宮正之伸先生の机の下に、教科書等、指導用具を入れるカゴがおいてありました。ふと見ると、リポビ〇ンDの空き瓶が一緒に入っています。「大丈夫か？」と声を掛けると、「はい！これで頑張れています！」「飲み過ぎたら効かんぞ！」「効かんかったらアリ〇ミンがお勧めよ！」と横から教頭の声。

「ユン〇ル黄帝液まで飲まんといけんなる前に休めよ！笑」

どの先生も一生懸命、子供たちのために尽力しています！



四方山話真穴 ver2. 其の九(教えるということ)

久しぶりにバスに乗って学校に行く機会がありました。（バスで真穴小に来たのは初めてです。）狭いところもバスの運転手さんはスイスイ。見事だなあと思いながら運転を見ていると、大学時代、自動車教習所に通った時のことを思い出しました。仮免前のことです。S字クランクの通行の際、横にいる教官に「初めは道路の左端に車のどこどこを合わせて、次は道路のどこどこに…」まだ路上に出る前です。何を言ってるのかさっぱりわからず、あえなく脱輪。「何で言った通りにしないの？」『…』次の時間は別の教官でした。またS字クランクです。「自分が道路の真ん中を走るつもりで進んで行って！」一発クリアでした。おそらく前の時間の先生も正しいことは言っていたのだと思います。ただ、後の先生の教え方が私の理解の仕方に合ってたんでしょうね。

これが学校ならどうでしょう？子供は担任を選べません。指導の引き出しをいかに増やしていくか。ここに私たちがプロ意識を持たないといけないポイントがあると思います。教師が学習や生活のルールをしっかりと敷いてやらないといけない発達段階の学年もあれば、子供自身に自分のルールを敷かせていきたい段階もあります。いずれにせよ、脱輪をした時にどんなお助けルールが敷けるのか？相手が「理解をして」初めて「教える」という行為は成り立ちます。「何でわからんの？」これは大人の負けゼリフです。子供だってわかりたいんですから。（つい…言っちゃうんですね。特に身内だと…感情的になりやすい…。）

そんなことを考えていたら真穴学校前に到着です。運転手さんが「お気をつけて」と声をかけてくれました。今日も頑張ろうと思いました。



切り取り線

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思っています。